

宮城の水環境とカーボンフロー：伊豆沼と志津川湾

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、自然環境が関わるブルーカーボン・グリーンカーボンの定量的情報の整理が官民学を挙げて進められています。一方、陸域の水環境における炭素収支に関しては、主に閉鎖性水域における有機汚染としての側面から扱われてきましたが、カーボンシンクとしての視点からはまだ十分に整理されてきていません。また、ブルーカーボンの評価方法についても、学術的な裏付けに関する議論が継続している状況です。そこで本セミナーでは、宮城の水環境を例として、カーボンフローの場としての水環境の役割を概観した上で、環境経済学的な視点も交え、当該分野において今後必要となる研究課題について議論します。

日時：2024年11月30日13:30-17:00

場所：東北大学青葉山新キャンパス

環境科学研究科本棟（右地図参照）

3F大会議室

タイムテーブル：

13:30-13:35 開会挨拶（山田一裕支部長）

13:35-14:35 伊豆沼の水環境とカーボンフローにかかわる最近の話題

西村 修 東北大学大学院工学研究科・教授

14:35-15:35 ブルーカーボンと底層環境の適正管理に向けて：志津川湾
における物質動態研究の紹介

坂巻隆史 東北大学大学院工学研究科・准教授

15:35-15:50 休憩

15:50-16:50 カーボンプライシングの制度設計～グリーンカーボンへの応用

日引 聡 東北大学大学院経済学研究科・教授

16:50-17:00 閉会挨拶（中野和典副支部長）、情報交換会アナウンス

18:00-20:00 情報交換会@仙台市内



問い合わせ：日本水環境学会東北支部幹事・会計担当

佐野大輔（daisuke.sano.e1@tohoku.ac.jp）

参加登録方法：以下のアドレスもしくは右下のQRコードから参加登録用フォームにアクセスし、必要情報をご記入の上、送信してください。<https://forms.gle/54vQCcazqlyWkFWAA>

参加登録QRコードはこちら→

